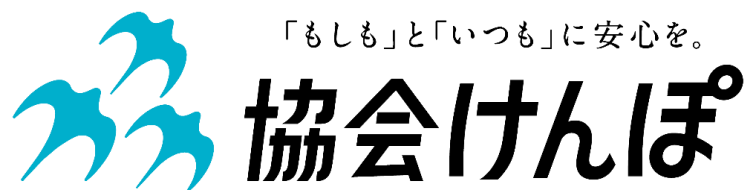


滋賀支部 課題シート・健康づくり戦略（案）



全国健康保険協会滋賀支部

1. 滋賀支部 課題シート

	課題
1	被保険者の特定保健指導実施率が全国下位で推移しており、生活習慣病リスク保有者への介入が不足している。特に健診当日の初回面談実施率及び評価完了率の向上が課題となっている。 特定保健指導（被保険者） 【2025年度 KPI 22.4% 実績（初回面談）24.3%（全国 36位）、（実績評価）16.7%（全国 43位）】 【2024年度 KPI 20.8% 実績（初回面談）19.5%（全国 42位）、（実績評価）14.6%（全国 43位）】 【2023年度 KPI 38.0% 実績（初回面談）20.0%（全国 40位）、（実績評価）17.1%（全国 37位）】
2	一人当たり医療費では「新生物」が最も高く、年々増加している。特に女性では40歳代から乳がん関連医療費が増加しており早期発見・早期治療につながる取組が必要である。 【2025年度 新生物一人当たり医療費 29,962円（前年比 107.3%）】 【2024年度 新生物一人当たり医療費 27,931円（前年比 102.5%）】 【2023年度 新生物一人当たり医療費 27,246円（前年比 105.6%）】
3	要治療者の医療機関受診率が低く、健診結果を活用した重症化予防の強化が必要である。 （未治療者が受診が低い） 2025年度健診受診分 健診月から10ヶ月以内の医療機関受診率 【滋賀支部 34.2%（全国34位・全支部平均35.0%）】
4	国のバイオシミラー使用目標に対して置換率が低く、医療資源の有効活用及び医療費適正化に向けた取組強化が必要である。 バイオシミラーに80%（数量ベース）以上置き換わった成分数が全体の60%（成分数ベース）以上となっている割合 （2026年1月～3月レセプトデータ） 【滋賀支部 23.5%（全支部中央値37.5%）】

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

2. 滋賀支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

滋賀支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

滋賀支部では、特定保健指導実施率の向上、新生物に係る医療費の適正化、生活習慣病の重症化予防及びバイオシミラーの使用促進を重点課題として取り組みます。これらの課題解決を通じて、加入者が健診結果を自らの健康づくりに活かし、必要な特定保健指導や医療機関受診につながる行動の定着を図ります。また、事業主が従業員の健康づくりを経営課題として認識し、健診受診、特定保健指導、治療継続を後押しする職場環境づくりを実践することで、生活習慣病の重症化やがんの進行が予防され、健康寿命の延伸と生産性の向上を図ります。さらに、加入者・事業主・医療機関・行政・関係団体が連携し、適切な受診行動や医療資源の有効活用が定着することで、持続可能な医療保険制度の実現に寄与します。

II) 戦略概要

滋賀支部では、健診結果、レセプトデータ、事業所カルテ等の分析により地域及び加入者の健康課題を的確に把握し、その結果に基づいて優先度の高い対象者や事業所へ重点的に働きかけることを基本方針とします。生活習慣病の発症予防及び重症化予防については、特定保健指導の利用促進を重点に、健診機関との連携による健診当日の受診勧奨や特定保健指導の実施、医療機関等との連携による受療支援を推進し、健診から特定保健指導、医療機関受診まで切れ目のない支援体制を構築します。また、新生物対策については、市町や健診機関との連携によりがん健診受診や精密検査受診を促進し、早期発見・早期治療につなげます。

2. 滋賀支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

さらに、加入者の年齢、性別、健康状態等の特性に応じた情報提供や健康教育を実施するとともに、健康経営の推進やデジタルツールの活用によりヘルスリテラシーの向上と健康行動の定着を図ります。加えて、医師会、薬剤師会、行政など地域の関係団体との連携を強化し、バイオシミラーの使用促進や地域医療構想等における積極的な意見発信を通じて、良質かつ効率的な医療提供体制の構築及び医療費適正化に寄与します。

2. 滋賀支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

医療費・健診データ等を活用し、生活習慣病リスク保有者や腎機能低下リスク者、40歳代以降の女性等の健康課題に応じた情報提供や受診勧奨を実施します。特に、健診結果から重症化リスクが高い対象者を抽出し、状況に応じた支援を行うことで、健診後の行動変容を促進します。

[健康経営の推進]

健康宣言事業所を中心に事業所カルテを活用した健康課題の見える化を進めるとともに、特定保健指導利用や重症化予防に関する情報提供を強化します。健康宣言事業所への事業所訪問の取組を更に推進し、事業所の担当者に加え、事業主との連携を強化することで、従業員の健康づくりを職場全体で支える環境整備をサポートします。

[健診の拡充]

人間ドック健診や集団健診等の受診体制を充実させるとともに、健診機関や市町との連携により受診機会の拡大を図ります。また、未受診者への個別勧奨を強化し、疾病の早期発見・早期介入につなげます。

2. 滋賀支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[特定保健指導の量・質の向上]

大規模健診機関との連携を強化し、健診当日の特定保健指導実施を推進するとともに、実施率の低い事業所への重点勧奨を行います。また、特定保健指導の外部委託を推進していくとともに、ＩＣＴの活用や特定保健指導実施機関との連携強化により利用機会を拡大し、研修等を通じて特定保健指導の質の向上を図ります。

[重症化予防の拡充]

健診機関と連携し、健診結果に基づく受診勧奨を強化します。また、がん検診要精密検査者に対する受診勧奨を強化し、早期発見・早期治療を推進します。

[ヘルスリテラシーの向上]

生活習慣病予防、がん予防を重点テーマとして、広報誌や健康教室等を活用した情報発信を強化します。また、健康情報を正しく理解し、適切な受療行動や生活習慣改善につなげることができるよう、年代や健康状態に応じた健康教育を実施します。

2. 滋賀支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

地域医療構想調整会議や医療費適正化計画等の協議の場に積極的に参画し、医療費や受療動向等のデータ分析結果を活用した意見発信を行います。地域の実情を踏まえた効率的かつ持続可能な医療提供体制の構築に向け、保険者としての役割を果たします。

[医療費の適正化]

医師会、薬剤師会、病院薬剤師会及び医療機関と連携し、バイオシミラー及びジェネリック医薬品の使用促進を図ります。特に、使用率の高い医療機関の取組事例を横展開することによりバイオシミラーの普及を進めるとともに、適正受診やセルフメディケーションに関する情報発信を行い、医療費適正化を推進します。